



さんふらわあターミナル(別府)

フェリーターミナルのユニバーサルデザイン



共生社会の実現に向けて

障害当事者参画によるバリアフリー施設整備のプロセス

■ 共生社会実現に向けたレガシーの継承 – 旅客船ターミナルのバリアフリー化モデル事業 –

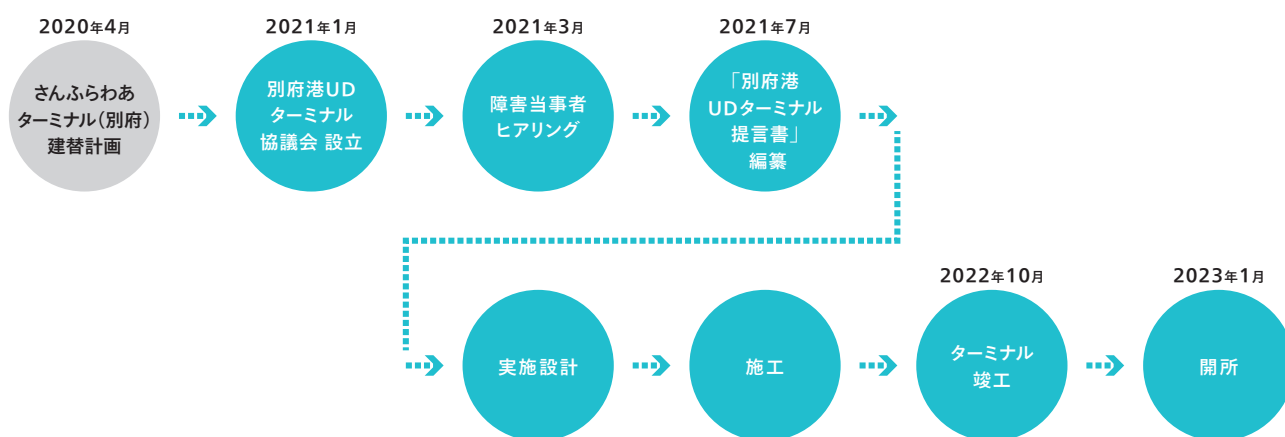
2020年パラリンピック東京大会を契機とした「心のバリアフリー」と「ユニバーサルデザインの街づくり」に取り組む「共生社会ホストタウン」の拡大など、地域における共生社会実現に向けた機運の醸成をパラリンピック後もレガシーとして継続することが求められています。

そのため、交通エコロジー・モビリティ財団では、日本財団の支援による「共生社会実現に向けた移動円滑化基金」を活用して港湾施設におけるバリアフリー化支援を行い、障害当事者の意見や最先端のバリアフリーを取り入れることで誰もが使いやすいターミナル施設とスムーズな乗船の実現を目標に、本事業を実施しました。

■ さんふらわあターミナル(別府)の整備経緯

本事業の実施に際して、当財団は2021年1月に「別府港UDターミナル推進協議会」を設置しました。実施主体の株式会社フェリーさんふらわあ、別府市内の特定非営利法人自立支援センターおおいた、別府・大分バリアフリーツアーセンターを構成員とし、さらにオブザーバーとして国土交通省九州運輸局、大分県、別府市の関係各課の協力を得て計画の段階から障害当事者へのヒアリング等を行い、旅客船ターミナルにおける移動円滑化の課題とそれを解決するための施設整備について協議を進めました。

2021年7月に、それらの検討経緯を「別府港UDターミナル提言書」に取りまとめ、実施設計・施工に反映し、2023年1月にさんふらわあターミナル(別府)の開所を迎えました。



さんふらわあターミナル(別府)の開業によせて

今回、障害当事者委員として参加させていただきました。「世界に誇れる」を目標に掲げ、当事者ヒアリングを重点的に実施しました。どのような工夫で実現できるか協議を重ね、最終的に要望を全面的に受け入れた形での完成となりました。

今後、このターミナルが公共施設建設をはじめ様々な建築物のロールモデルターミナルになることを願っています。

尚、障害がある方で、別府をはじめ大分県への観光、旅行の際は、別府・大分バリアフリーツアーセンターがサポートさせていただきます。お気軽にお問い合わせください。

特定非営利法人自立支援センターおおいた
理事長 後藤 秀和

別府・大分バリアフリーツアーセンター
代表 若杉 竜也

別府・大分
バリアフリー
ツアーセンター



さんふらわあターミナル(別府)のご紹介 (外観／駐車場～アプローチ)

利用用途にあわせた屋根付きの バリアフリー駐車スペースを設置

駐車場にはバリアフリー駐車スペースを2ヶ所整備しています。ターミナル最寄りには3台分の駐車スペース、送迎エリアには駐車・出庫がしやすい2台分のスルー型駐車スペースを設けています。また、バス停やタクシー乗降場からターミナルのエントランスまで屋根が整備されています。



① バリアフリー駐車スペース (1) (3台分)

ターミナルの最寄りに屋根付きのバリアフリー駐車スペースを整備しています(左右と、車両後方からの安全な乗降にも配慮したスペースを確保)。

1 2 は「大分あったか・はーと駐車場※」と連携、**3** は車椅子利用者専用駐車場としています。



※大分県が取り組んでいる駐車場利用制度

② バリアフリー駐車スペース (2) (2台分)

送迎エリアに屋根付きのバリアフリー駐車スペースを整備しています(左右と、車両後方からの安全な乗降にも配慮したスペースを確保)。また送迎時、スムーズな利用ができるようにスルー型(入庫時の向きのまま出庫できる／後退の必要がない)を採用しています。

4 5 は「大分あったか・はーと駐車場」と連携しています。



すべてのお客様に安全・快適にご利用いただくため、バリアフリーに対応した新造船新ターミナルを整備しました。日本初のLNG燃料フェリーへのご乗船をスタッフ一同、心よりお待ちしております。

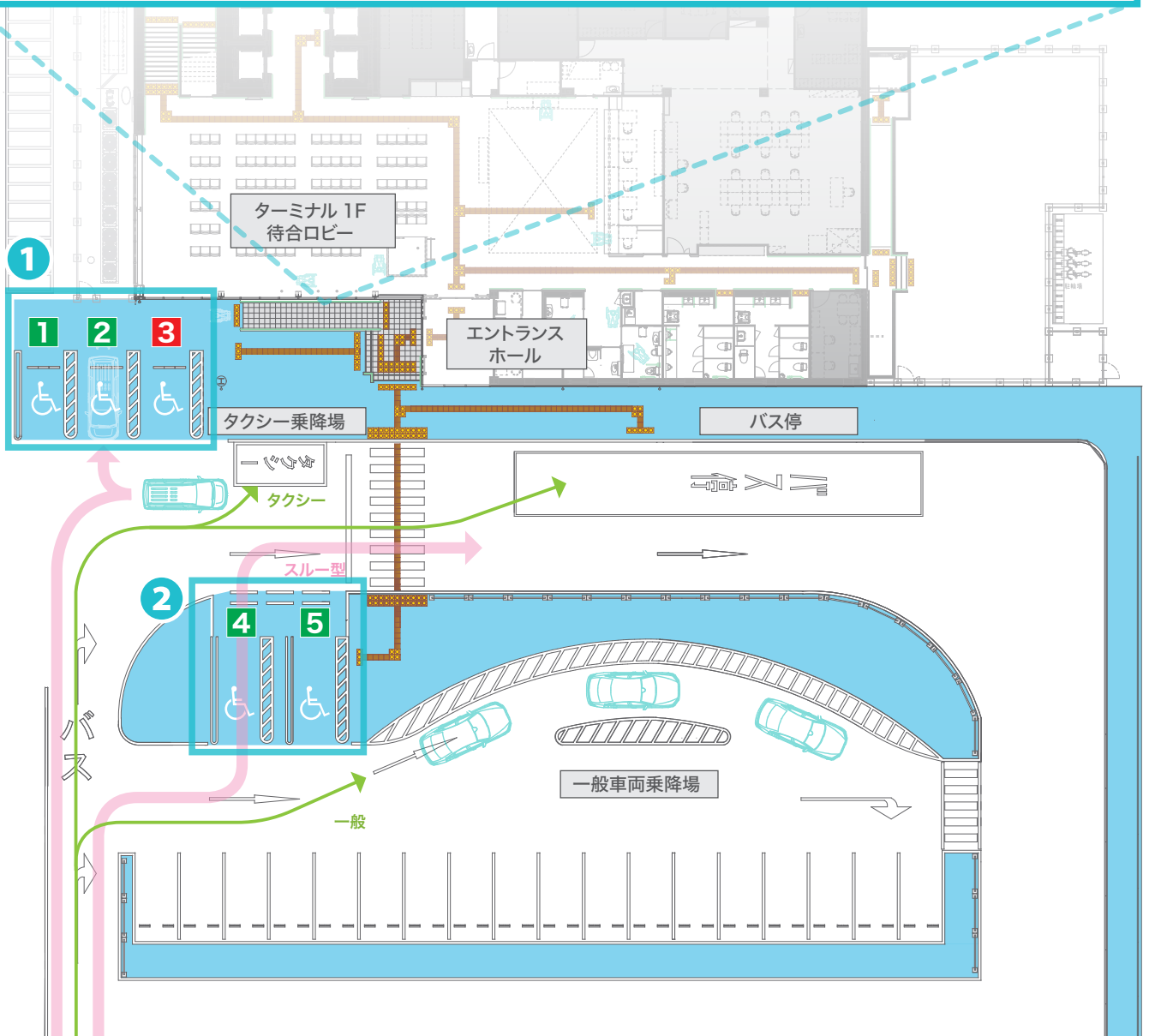
株式会社フェリーさんふらわあ

③ 歩道～アプローチ

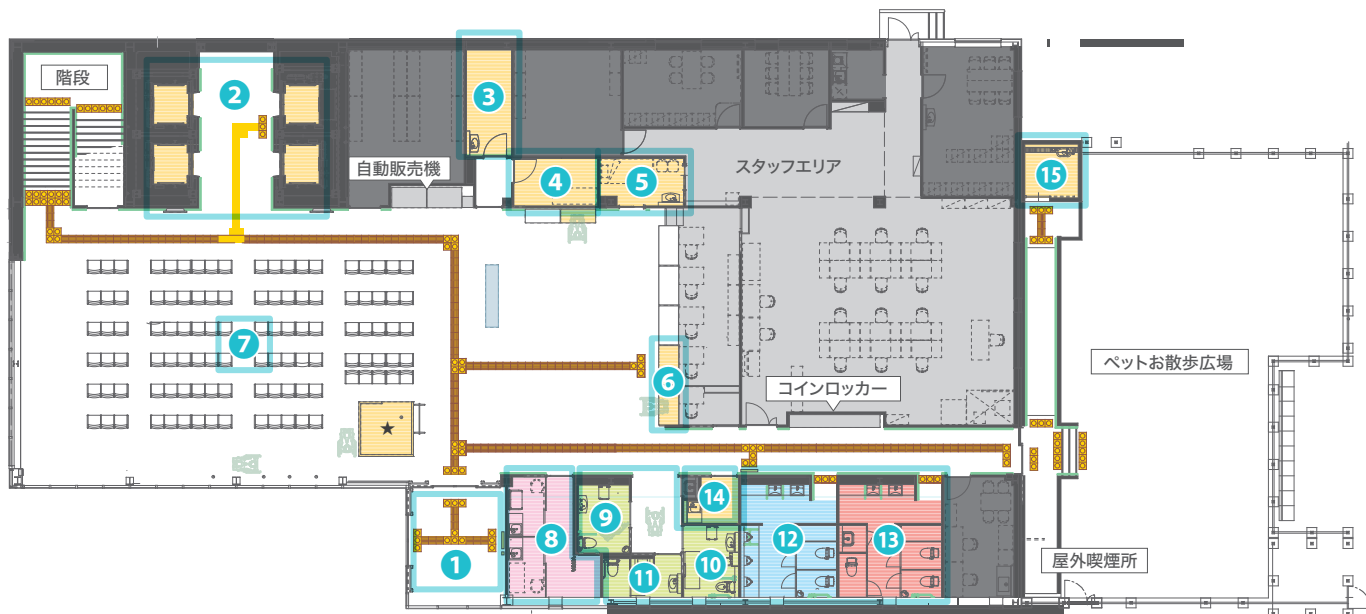
車道と歩道の違いを分かりやすい塗り分けで表しています。また、駐車スペースからエントランスまで、バス停からエントランスまで、連続的に点字ブロック(横断歩道部分はエスコートゾーンの整備)を敷設しています。



さらに、車椅子使用のお客様、ベビーカー利用のお客様のためのスロープを整備しています。



さんふらわあターミナル(別府)のご紹介 (ターミナル1F)



ターミナル内の点字ブロックで示される動線は(誘導対象施設を)シンプルで分かりやすいように配置

文字にピクトグラムを併記したサイン、触知案内図、音声ガイドによる分かりやすい情報提供を実施



施設誘導サイン

トイレ前の触知案内図とスピーカー(音声ガイド)

① エントランスホール

全館の案内図(触知案内図)と人的支援(サポート)をを求めるお客様のため、インターホンを整備しています。



② エレベーター

輸送力を確保するため、4基のエレベーター(うち1基はストレッチャー対応)を整備しています。かご内は、音声案内、低い位置の操作盤、浮き出し文字のボタン、点字表示、手すりなどバリアフリー化しております。



③ 祈祷室

宗教多様性に対応するため、個室形式の祈祷室を整備しています。



国内の旅客船ターミナル初の カームダウン・クールダウンルームを設置

④ カームダウン・ クールダウンルーム

気持ちを落ち着かせたいお客様のため、カームダウン・クールダウンルームの個室を整備しています。



⑤ 救護室

体調の悪くなったお客様のため、スタッフエリアに近い場所に救護室を整備しています。



⑥ 発券カウンター

視覚に障害のあるお客様のため、点字ブロックで誘導したカウンターと車椅子使用のお客様が利用しやすいローカウンターの2ヶ所の発券カウンターを整備しています。



⑦ 乗客待合室

すべてのお客様が快適で、安心して待合時間を過ごすことができる空間を整備しています。発券カウンターの近い場所には優先席を配置し、他のお客様が気になる方には、パーテーションで区切られた座席を設置しています。また、スマホの充電スタンドも整備しています。



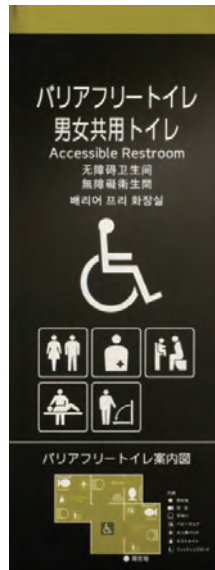
各々の利用ニーズに合わせた

バリアフリートイレ(車椅子用トイレ、多機能)・男女共用トイレを設置



入口の配慮ポイント

- 入口に案内図(設備配置図)を設置
- 車椅子が転回しやすいスペースを確保
- 多言語(日英中韓)で表示
- 設備内容をピクトグラムで表示

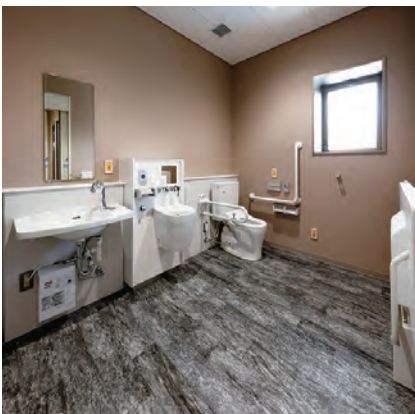


9 バリアフリートイレ(車椅子用トイレ)の設備



- 手すり(L字固定式・跳ね上げ式)
- フィットティングボード ● ベビーチェア
- フック(高い位置、低い位置)
- 便座に対して右からのアプローチがしやすい

10 バリアフリートイレ(多機能)の設備



- 手すり
(L字固定式・跳ね上げ式)
- オストメイト対応設備
- 多目的ベッド
- フック(高い位置、低い位置)
- 便座に対して左からのアプローチがしやすい

11 男女共用トイレの設備

- 小便器
- 洋便器ブース(手すり付)



12 男子トイレ 13 女子トイレの設備

- ベビーチェア
- 手洗器付近にオムツ替えベッドを設置



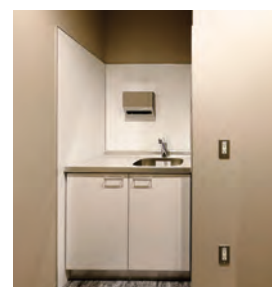
15 補助犬用トイレ

補助犬を利用しているお客様のため、シャワー付き水栓・防臭機能付きゴミ箱を整備しています。



14 水飲み/医療電源室

医療的ケアを必要とするお客様が使用できる電源、服薬を必要とするお客様が使用できる水飲器を備えた個室を整備しています。なお、コンセントは高い位置にも低い位置にも設置しています。



アクセス



- JR別府駅からバスで約15分「さんふらわあターミナル(別府)」下車
- JR別府駅からタクシーで約10分

施設概要

構造	鉄骨造 地上2階建
敷地面積	3,763.20㎡
延べ面積	1,105.65㎡

事業主：株式会社フェリーさんふらわあ
設計事務所：東九州設計工務株式会社
施工会社：株式会社 菅組

2023(令和5)年 2月発行

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

〒112-0004

東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル10階

TEL:03-5844-6265/FAX:03-5844-6294

作業協力:株式会社TAP